

Commemorating the 260th Anniversary of Hokusai's Birth

生誕260年記念

北斎の視覚マジック

The Visual Magic of Hokusai



2020 9.5 SAT 11.15 SUN
5 SEPTEMBER [SAT] - 15 NOVEMBER [SUN] 2020

新発見の
北斎肉筆肖像画初公開!

▶開館時間：午前9時～午後5時（ご入館は午後4時30分まで）
▶入館料：大人1,000円 / 高校生500円 / 小中学生300円
▶主催：一般財団法人 北斎館 ▶共催：信濃毎日新聞社

長野県上高井郡小布施町大字小布施485
TEL:026-247-5206 FAX:026-247-6188
<https://hokusai-kan.com/>

The Hokusai-kan Museum

▶Hours: 09:00-17:00 (Last admission: 16:30)
▶Admission: Adult: ¥1,000; High School: ¥500; Elementary and Junior High School: ¥300

485 Obuse, Obuse-machi, Kamitakai-gun, Nagano-ken 381-0201
<https://hokusai-kan.com/en/>
info@hokusai-kan.com

信州小布施 北斎館





この展覧会は、北斎作品の造形のところどころに見られる特色、現実離れしているが違和感を感じさせない視覚的演出、「視覚のマジック」を探っていく展覧会です。

葛飾北斎は宝暦十年(1760)、現在の東京都墨田区にあった本所割下水に生まれました。十九歳で当時の人気浮世絵師、勝川春章に弟子入りすると、師にその腕前を認められ、瞬く間に役者絵師としてデビューを果たしました。

しばらくして師匠の死に伴い、兄弟子たちとの不和などにより勝川派を出た北斎は、寛政六年(1794)、江戸で活躍した上方絵師俵屋宗達の画号を襲名し、翌年には宗理の名で絵巻などを発表しました。この頃描いていた美人画は、「宗理型美人」と呼ばれています。

今回展示する肉筆画「柳下傘持美人」はその典型的な作品で、当時北斎が得意としていた、目鼻が小さく瓜実顔をした若い娘を描いたものです。同じ時期に発表された絵本「隅田川兩岸一覽」にも、特徴高いほっそりとした女性たちが多く描かれています。



その後わずか三年ほどで宗理の名を門人に譲り、北斎と画号を改めると、それまで見られなかった西洋風の作品などを手掛けるようになります。「阿蘭陀画鏡」シリーズもその一つで、まるで西洋画を意識し、額縁をデザインしたかのような作品からは、銅版画とも錯覚するほどです。

葛飾北斎を名乗る40代半ばになると、北斎は読本の世界に携わるようになります。当時人気作家だった曲亭馬琴と組み、読本の挿絵を手掛けるなどし、北斎の評判はうなぎのぼりに上がっていきました。臨場感にあふれた作風は、物語の世界に引き込まれるような感覚にさせてくれます。まさに視覚のマジックと言えるでしょう。今回展示する『椿説弓張月』や『霜夜星』、『新編水滸画伝』は北斎の挿絵作品を代表するものと言えます。

文化七年(1810)頃に名乗っていた戴斗から、文政三年(1820)頃に使っていた為一の頃にかけて、北斎はさらに様々な版本作品に携わるようになります。文化十一年(1814)に発表された『北斎漫画』は、明治期まで続く大

ヒットとなり、また、天保二年(1831)には、今や誰もが知る「富嶽三十六景」を出版、浮世絵界にそれまであまり見られなかった「風景画」を確立させると、それに続くように各地の滝や、橋の名所を描いた「諸国龍廻り」、「諸国名橋奇覽」などの錦絵を発表し、新しい風を吹き入れました。

晩年になると、北斎は浮世絵版画の世界から離れ、肉筆画を描くことに没頭するようになります。亡くなる九十歳までの最晩年に使っていた画号、画狂老人(くわきやうじん)を名乗る頃、北斎は信州小布施へ数回旅行をし、小布施の祭屋台天井絵「龍」、「鳳凰」、「男浪」、「女浪」を描きました。それまであまり描かなかった、現実にはない空想の世界を描いた作品からは、北斎の卓越した視覚、想像力をうかがうことがで



きます。亡くなる直前、北斎は「天があと5年の命を私にくれたらなら、真正の画工になっただろう」といい、浅草聖天町の仮宅で没したといっています。

最後の最後まで絵を描くことに命を注いだ北斎。彼の指先からあふれ出たマジカルな作品の数々をどうぞお楽しみください。

北斎館ご案内

■開館時間

午前9時～午後5時
(ご入館は午後4時30分まで)

■駐車場

北斎館駐車場(北斎館に隣接)
大型車・中型車2,000円
マイクロ1,500円、普通車400円
(いずれも3時間まで)

■アクセス

- 電車ご利用の場合
JR長野駅「善光寺口」を出て長野電鉄特急約20分、普通約30分、小布施駅下車徒歩12分
- 車でお越しの場合
国道18号線「豊野」信号から約10分、上信越自動車道「小布施PAスマートインター」(ETC車専用)から約8分、「須坂長野野東インター」から約20分、「信州中野インター」から約15分

